

第11回女性起業家大賞・グロース部門 特別賞

高齢者が生き生きと楽しくふれあえる場所をつくりたい

有限会社スマイルサービス 代表取締役 松原 律子

地域に根付いた温かい福祉を目指し、お一人お一人を大切にしています



きっかけは祖母と母の介護

16歳のとき、老衰の祖母と脊髄の病気を患って歩行が困難になった母を自宅で介護していました。当時の私は、祖母の褥瘡(床ずれ)を見て、「何の病気だろう」「尿が漏れてしまうのは何でだろう」と疑問だらけ。介護に疲れてイライラしたり、泣いたりした日もありました。結局、祖母は18歳のときに自宅でみとり、母は7年の在宅介護を経て病院で看護を受けるようになりました。

「母に手を掛けられなくなった分、他の人のお手伝いがしたい。介護を一から勉強したい」と福祉の道に進むことを決めたのは27歳のときでした。介護施設で職員、生活相談員として働くうちに、「小さくてもいいから地域の人と生き生きと楽しくふれあえる場所、自分の思いのあるデイサービス(通所介護)をつくりたい」と思い立ち、平成16年に起業しました。

個人の尊厳を大切に

翌年に「デイサービスセンター チューリップ」を開設した際は資金面で苦労しましたが、家族や地

域の皆さんに応援と後押しをしていただきました。

当社は、職員の面接時に必ず「経営理念」を示し、経営スローガン「ご利用者様を大事にしましょう!」と行動指針10則「笑顔・尊敬・丁寧・心のケア・傾聴・連携・素直・感謝・目標・夢」をお約束いただいています。高齢者の方と接する際は心のふれあいや個人の尊厳を大切にしたいと考え、私自身も全力投球で取り組んでいます。

祖母と母の介護を通じて学んだのは、特に初めての介護の場合はどういうにすれば良いか分からず、精神的に辛い思いをするということです。利用者さまだけでなく、その家族の方との関わりを大事にし、介護技術の指導と心のケアを大切にしています。緊急時や不安なときは、24時間365日、いつでも相談ができる体制にしています。

利用者さまの思いを尊重

今年2月に、肝臓がんの父を自宅でみとりました。父は入退院を2年ほど繰り返していましたが、「最後は自宅で過ごしたい」という思いを尊重し、残りの時間を過ごしました。デイサービスのお仕事

でも、利用者さまの思いを尊重するように意識しています。

昨年1月には、念願のサービス付き高齢者向け住宅「チューリップかみさと」を開設できました。「小さくてもいいから、高齢者の方が生き生きと楽しくふれあえる住まいをつくりたい」と願って8年。住み慣れた地域で、笑顔で安心して生活し、希望があれば住宅でみとってもらえる体制を整えています。

現在、高齢者の孤独死の増加が問題となっています。私は専門分野の老人福祉事業にコツコツと取り組みながら成長し、いずれは高齢者の方を見守ったり、ご自宅で安心して暮らせる支援をしたりする業務に携わりたいと強く思っています。

人生の最期に関われることを生き甲斐に、これからも地域を大切にしていきたいです。



有限会社スマイルサービス
(埼玉県児玉郡)
平成16年創業
老人福祉事業、通所介護・居宅介護支援事業・訪問介護、サービス付き高齢者住宅・福祉タクシー、介護タクシー事業